

スマイルタイムズ

No, 214

年頭

院長 中山茂樹

ご挨拶

嘆くべき 出生児の減少

平成26(西暦2014)年、あけましておめでとうございます。毎年、歳を取るのに、若い間はおめでとうでいいのですが、この歳になると何がめでたいのか! ?と逆らいたくもなりません。ま、元気で笑っていただけるのがお目出度いかな。

さて、年々小浜市および近郊の人口の減少が止まらないようです。小浜市に限ってみるとここ10年、毎年100人から400人くらいの減少が続いています。出生児に限ってみると240人から320人くらいで減少が続いており、ここ2年は異常な減少を認めます。

恐ろしい勢いで少子高齢化が進み始めています。社会的要因があるとはいえ全国的傾向ですから、日本の将来の予測がつきにくい状況に入っているといえます。電気の使用量も減り、高速道路も利用する人も年々減っていくことを考えて、国の(地方の)将来設計をして頂きたいものです。

税金は上がっていき(上がるのはこれだけ)、今までの作ればいい、建てればいい、という考えは成り立たなくなっています。

一方では、世界の人口は増加の一途をたどり始め、これからの10年で7千万人の増加があるだろうといわれています(現在の世界人口は71億6千万人)。そうすると世界的には食糧不足が懸念されます。

そこで今、日本で必要なのは漁港と農地の整備、進んで栽培漁業、水耕農業の国家プロジェクトではないでしょうか。まず、海産物、農産物の生産性を上げておかないと、これから徐々に輸入する食糧に制限がかかり、国内消費に見合った国内生産が追いつかなくなるのではないのでしょうか。つまり、国内で生産できる食糧がどんどん減っていくないように、外国から入る食糧は高止まりしてしまわないように、国挙げて対応しなければならないのではないか、と思われれます。それはとりもなおさず出生児の減少を止めることになります。

さて、昨今、テレビや新聞で東京都の知事選の候補者が取りざたされていますが、当紙62号(平成13年5月16日発行)に当院の創立5周年を記念して当時の衆議院副議長の渡部恒三(わたなべこうぞう)氏を市内のホテルにお招きして講演をお願いした時の話が思い出されます。渡部さんはこう言われました。“この間、細川君を訪ねたらいきいきとしている。総理を辞めて陶芸に熱中しているからだ”。さて、その脱俗して生き生きしていたはずの元総理の細川護熙(もりひろ)氏が何故還俗(げんぞく)して都政に罷り出られたのか。公約は「脱原発」のようですが、東京都は小浜どころではない日本一の少子化の地域(女性の生涯出生率1,09)です。早くもっと介護施設を整備すること、

平成26(2014)年1月23日(木)発行
発行者 小浜市多田2-2-1 中山クリニック 院長 中山茂樹
<http://www.nakayama-clinic.jp>

8千人を超える待機児童のための託児所を増設すること、いつ起きるか分からない直下型地震への防災設備拡充など、都知事としてしなければならない施政問題は山積しているはずなのに元総理の小泉氏と組んで小泉氏が国民に問いかけた郵政民営化のワンイシュー(一点に絞った政争方法)式で都政に躍り出るとは奇異な感じがします。熊本城の城主では飽き足りなくなって江戸城の城主になろうとされているのか。若しそうなれば歴史書にはどう書かれますか。都政を握ってからこそ真価を問われるでしょう。

しかしながら原子力は安全で安価と言う人がいても、事故が起これば最も危険であるという現実は見えてきています。地震大国に原子力発電が適切であるかどうか、いろいろ論議し合っただけで日本の行く末に正しい選択をしていかねばなりません。安易に文明の力として判断していくには難しい時期にきているのかも知れません。今年はそんな難題を国民に問いかけられる年になりそうです。

何がいいのか、考えよう、勉強しよう

もう60年以上も前にアメリカの動物心理学者が発表した実験結果。同じように生まれた二匹のチンパージの赤ちゃんを別々の二つの箱の中で育てた。一方は何もないがらんだ箱、もう一つにはスプリングの頭に温かい濡れタオルがいつもかかっているだけ。前者のチンパージより後者的の方がよく育った。理由は前者は本当に孤児育ちだったが、後者はスプリングのタオルがお母ちゃんのおっぱいだと思いつつもそれに触っては、孤児ではなかったから。

もう一つは近年の研究で、同一の母ラットから同時に生まれたラットを数匹ずつ二つのグループに分け、片方のグループには食事量を減らしたり、時々振動などのストレスを与えた。もう一方には何のストレスも与えず十分な食事を与えて育てた。結果は、前者の方が健康に育った。前者くらいのほどほどのストレスは心身によいのです。ストレスには①交感神経が興奮する→②防衛反応が起きる→③生体が疲弊するの三段階があるようで、うち①②の段階で終わればよいストレス、③にまで至ると悪いストレスになるようです。

上の二つの実験から、何が愛情になるのかなア、ストレスはなんでも悪いわけではないんやなア、と知って頂ければ幸いです。

(松井)

《あとがき》1) 院長の文にもありますが、当紙が発行される23日は東京都の知事選挙告知日です。立候補者の大きな争点は原発の是非になるようです。その争点に対し都民はどう判断するか、われわれ日本の国の首都の頭が誰になるか、近年にない注目していきたい選挙です。2) 今冬は今のところ当地、暖冬で雪がほとんど降りません。-29.5度や大雪の北海道から比べるとありがたいことです。3) 当院、ミニギャラリーは去年末より内藤利博さん(若狭町兼田)の油絵です。カラー写真かと見まごう写実の美しさは息をのむ感じです。ごゆっくりご覧下さい。